

# 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 教育に活用可能な社会での実データ・課題募集 実データ・課題のコンソーシアムでの活用・連携イメージ

数理・データサイエンス・AI教育

## 教育に活用可能な社会での実データ・課題の収集・整備・提供

### 概要

- ◆モデルカリキュラム（リテラシーレベル）の策定を踏まえ、教育コンテンツの作成・普及（全国展開）の取組みを強化。
- ◆「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」が、全国の大学・高専の数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）教育に提供可能なデータ（実データ+課題のセット）を、民間企業等から公募し、整理、必要な処理をしたうえで、各大学・高専向けにホームページ等にて公開、提供。
- ◆コンソーシアム（教育用データベース分科会）を中核に、拠点校、協力校の協力を得て、これを実施する体制を整備。



### 民間企業・ 地方自治体など

- 実データ・課題の提供
- 社会応用事例の提供
- データの秘匿化等の加工

例えば、…

- DS協会（会員企業）
- データ保有企業（データソリューションベンダー企業 and/or データ提供元企業）
- 大学共同利用機関法人等（人間文化研究機構+情報システム機構等）

など

データ提供  
公募

データ・課題  
提供

### 文部科学省

- データ・教材を提供するプラットフォームシステム構築・運用に係る費用等を支援

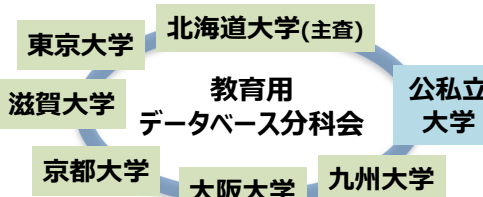
連携・協力

### 経済産業省

- 民間企業等からのデータ収集・活用に協力
- AI-Quest等のノウハウ共有（個人情報保護、二次利用制約等の契約ガイドライン等）

### 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム

#### データベース拠点



- ✓ 分科会メンバーを国公立大学に拡大
- ✓ それぞれの産・学ネットワークを活かして、実データ・課題を全国展開

- 実データ+課題のセット整備（教材（e-learning講義動画等）のなかで活用方法を明示）
- データベース・システム※の運用（データ・教材等、UIの高いデータベースを構築）
- 秘匿化されたデータを教育用に利用
- カリキュラム別検索機能の開発・提供

#### 教材分科会

- DB分科会と連携して、教材開発（e-learning講義動画など）
- 社会の活用事例 MOOCs

連携

#### 拠点校・協力校

教育用データ提供

更新した新規教材の提供



### 全国の大学・高専 （国公立）

- 整備された実データ・課題+教材の教育利用
- 実データ利用に際し、データの二次利用不可等を確約

データ提供側の希望に応じ、大学等における教育利用に際して、**データ提供企業名等を付すことで、企業活動を周知。**

※ データ提供においては、主査を務める拠点大学である北海道大学のプラットフォームを活用する

# 実データ・課題のイメージ

実データ（例）	活用業務	解決すべき課題	備考（発生時期、データ量）	（参考） 活用が想定される学部
コンビニ等 POSデータ	発注業務	適正発注（欠品防止、廃棄ロス削減） 発注業務効率化	数年以上前のデータで可能 数十万～100万行程度（ログ）	社会科学系
ネット通販購買履歴データ	クーポン配信業務	ターゲティング精度向上 （コンバージョン率向上）	数年以上前のデータで可能 マスクされた顧客IDに紐づく購買履歴データ 数十万～100万行程度（ログ）	社会科学系
機械稼働ログデータ （センサーデータ）	監視業務	機械稼働率向上 部品メンテナンス効率化	数年以上前のデータで可能 数十万～100万行程度（ログ）	工学系
インフラ点検記録データ	構造物健全度 判定業務	インフラ点検業務の時間短縮	過去数年、数万～数十万行程度	工学系
金融取引データ （入出金データや顧客属性情報など）	営業・顧客管理 業務	中途解約者数の低減	過去数年、数万～数百万行程度	社会科学系、人文科学系、
顧客意見データ	クレーム対応業務	クレーム要因の抽出と発生予測	過去数年、日本語の文章データ	社会科学系、人文科学系
アンケート結果データ	商品開発業務	顧客群の分類と分析	過去数年、数万～数十万行程度	社会科学系、人文科学系
物流データ	物流管理業務	トラック 1 台あたりの輸送品目数	過去数年、数千～数万行程度	社会科学系、工学系